

【シリーズ：教育現場における健康管理】

6. 東武医学技術専門学校における学生管理と指導

石橋 佳朋*[§] 川口 克彦*

【Key Words】学生管理、担任制、生活指導、教育指導

はじめに

東武医学技術専門学校(以下、本校)は、1970年に埼玉県岩槻市(現：さいたま市岩槻区)郊外に校舎を設立し、1971年に厚生大臣(現：厚生労働大臣)の認可により開校した(学校番号009、1学年40名定員、修業年限3年)。1975年に学則一部を変更し、1学年80名定員とし、現在では学生総定員240名(臨床検査科単科)の小規模な学校である。本校の特徴は、小規模の利点を生かし、どの教職員も、全員の学生の顔を覚えていて、どんな学生かを知っている点にある。大規模な学校ではないので、健康管理やメンタルチェックを分業化し、健康相談室や保健センター等を設けているのではなく、担任制をとることで、毎日の学生の様子から、授業出席状況や、健康状態、メンタル状態の確認を行っている。すなわち、教職員全員が、学生の学習状況や日常生活、心の問題を含めた健康管理に関して木目細かい気配りを行うことで、一人一人の学生をみているところが本校の特徴である。本総説シリーズのタイトルは「教育現場における健康管理」であるが、本稿では、学生の健康管理も含め、本校の教職員が、学生一人一人に対してどのように関わっているのか紹介し、

東武医学技術専門学校における包括的な学生管理と指導の概要を紹介したい。

I. 新入生研修旅行

入学式後の授業開始前に、学友間の親睦を深めることや鋭気の高揚を目的として、一泊二日の新入生研修旅行を実施している。第1日目には病院の臨床検査室を中心に見学を行い、臨床検査技師として働く将来像をイメージしてもらうことで目的意識の向上を目指している。ホテルに戻ってからの研修では、日本臨床衛生検査技師会や臨床検査学教育でご活躍されている方をお呼びして、臨床検査の重要性や社会人としての心構え等の内容でご講演していただいている。第2日目には体育館を借りて保健体育実習(写真)を行い、学生間でチームを組み、小球技大会を実施している。最初は戸惑いがあった各チームも、お互いに声をかけながら、連携をとるようになり、段々と大きな声が出てくるのは、見ていても楽しいものである。

この新入生研修旅行は、常勤の教員、全員が参加し、バス内でのお互いの自己紹介から、食事を共にし、球技大会での学生の様子を伺うことで、早くからそれぞれの学生の性格や特徴をつかむようにしている。また、研修旅行終了後、感想文を

*東武医学技術専門学校 [§]tobu-kyomu@tobuigaku.ac.jp



写真 新入生研修旅行の保健体育実習（平成 26 年 4 月 鴨川市文化体育館にて）

書かせることで、一人一人の学生がどんなことを感じたのか各教員が確認を行っている。

II. 朝のショートホームルーム

本校は、各学年 40 人の 2 クラスに分かれているため、最近でも 2 名の担任をおき、担任を中心に学生指導にあっている。学則により授業開始を 9 時 10 分、授業終了を 16 時 30 分としているが、昨年度より朝の集合時間を 9 時とし、授業開始までの 10 分間を担任によるショートホームルームの時間に充てている。事務的な連絡等を主にしているが、実質的な目的は出席確認であり、連絡なく欠席が認められれば学生本人へ連絡し、理由を確認するようにしている。また、連絡がつかない場合は保護者への連絡も行うようにしている。ショートホームルーム実施前に比べて、新入生の前期の比較であるが、前期の総授業時限数 350 時限中 1 人あたり 6~9 時限程度あった欠席が、昨年度では 3.6 時限程度に減り、本人や保護者への連絡を徹底させた今年度では 0.7 時限程度に減らすまでとなっている。

また、ショートホームルームによる出席管理か

ら、学生の健康管理を行うことができ、病気の学生を早期に認識し、周りへの対応や対策の指導を行うことで、広がりを防ぐことが可能となっている。

III. 学生生活実態調査アンケート

以前は、原則としてアルバイトを禁止していたが、現在では、本校の約半数弱の学生が奨学金の貸与を受けており、家庭での経済状況を踏まえ、学業に支障のない程度でのアルバイトを認めている。学生が、本当にアルバイトが必要な状態なのか、どれくらいの内容のアルバイトを行っているのか確認を行うため、学生生活実態調査アンケート(表 1)を実施している。アルバイトにより学業に支障をきたし、留年や休退学につながってしまうことにならないよう、成績を確認しながら、個別面談を通して学生指導を行っている。成績不良の学生には、保護者との面談を通して、アルバイト時間の縮小や一次中断等を促し、勉学に集中できる時間を確保できるよう家庭からの協力も仰ぐようにしている。

平成 年度 学生生活実態調査アンケート

年 組 番 氏名

★調査の目的

この調査は、学生の標準的な財務状況を把握し、学生生活支援活動の改善を図るための基礎資料を得る事を目的とする。

★調査の対象

本校の学生（休学者及び外国人学生を除く）

★あなたの現在の居住環境について教えてください。(該当する番号を記入する)

A	どこから通学していますか 1. 自宅から 2. 自宅以外から 3. アパート・マンション 4. 親戚・知人宅 5. 学生寮 6. その他()	
B	通学の距離はどのくらいですか (片道) 1. 5km以内 2. 10km以内 3. 20km以内 4. 30km以内 5. それ以上	
C	通学の時間はどのくらいですか (片道) 1. 30分以内 2. 1時間以内 3. 2時間以内 4. 3時間以内 5. それ以上	
D	通学の主な交通手段 1. 徒歩 2. 自転車 3. バス 4. 電車 5. バイク 6. 自働車 7. その他()	

★あなたの生活費の状況について。(1ヶ月あたりの実際の金額を記入する)

①家族から(授業料等の納付金を除く)	円
②奨学金	円
③アルバイト	円
④その他()	円
収入合計	円
①食費(自宅通学者は外食費など)	円
②住居費(家賃・水道光熱費/自宅外通学者のみ)	円
③衣服・嗜好品・雑費	円
④携帯使用料金	円
⑤交通費	円
⑥娯楽費	円
⑦その他()	円
支出合計	円

東武医学技術専門学校

表1 学生生活実態調査アンケート

平成 年度 学生生活実態調査アンケート

★奨学金について教えてください。(該当する番号を記入する—複数回答可)

1	学生支援機構第1種奨学金を借りている	
2	学生支援機構第2種奨学金を借りている	
3	東武医学技術専門学校後援会の奨学金を借りている	
4	上記以外の奨学金を借りている その他()	

★アルバイトについて教えてください。(A～Fで該当する番号または回答を記入する)

A	アルバイト状況 1. 定期的なアルバイトである 2. 不定期的なアルバイトである 3. していない	
B	アルバイトの1ヶ月平均就労時間 1. 10時間未満 2. 10時間以上20時間未満 3. 20時間以上30時間未満 4. 30時間以上40時間未満 5. 40時間以上	
C	平日のアルバイト曜日 1. 月 2. 火 3. 水 4. 木 5. 金 (複数回答可)	
D	平日のアルバイト時間帯 時間帯を記入してください(24時間表記)	
E	土曜日のアルバイト時間帯 時間帯を記入してください(24時間表記)	
F	日曜日のアルバイト時間帯 時間帯を記入してください(24時間表記)	
G	アルバイト収入の使途 1. 衣食住の費用 2. 執学費 3. 娯楽費 4. 旅行費 5. 預貯金	
H	アルバイトと学業の関係 1. ほどんど支障はなかった 2. ある程度支障があった 3. 大きな支障があった	
I	アルバイトを止めた理由 1. 経済的に不都合 2. やりたかったが時間的余裕がなかった 3. 自分ややりたい職場が見つからなかった 4. やりたいことがみつからなかった	

東武医学技術専門学校

IV. 個別面談および保護者連絡会の実施

前期で成績不良となってしまった学生の進級率が低いため、前期の内に対策がたてられるよう自宅での勉強時間や、苦手な科目等を確認し、早くから放課後補習や個別指導を行うようにしている。担任だけでなく、各科目の教員が残って学習指導を行うため、授業時間後、残って勉強していく学生が多くなっている。また、学生に家庭学習してもらうためには、保護者の協力がなくては難しい部分もあるため、保護者連絡会を各学年で実施している。保護者連絡会では、普段の学生の様子を知ってもらうための授業参観、学校の行事や学則等の説明を行う全体連絡会等を行っている。保護者から、学校での子供の勉強の様子が伺え、また、どんな理由で学校の教育や行事が行われているのか聞くことができるので良かったとの意見もいただいている。

V. 感染症関連記録およびインフルエンザワクチン接種

第3学年で行う臨地実習では、受け入れに際し、麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘・B型肝炎の抗体価やツベルクリン反応について記した感染症関連記録(表2)の送付が必要な実習施設もあるため、第1学年のうちに感染症関連記録を保護者に送付し、罹患歴やワクチン接種歴について記入していただいている。第1学年の9月には3年生が案内して行う臨地実習見学会があるため、その前までに、麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘について抗体価を調べることとしている。陰性が認められた学生には、1年生のうちにワクチン接種を行うよう指導を行っている。そして、第2学年では、全学生を対象にB型肝炎ワクチン接種を行っており、臨地実習前にB型肝炎の抗体価とツベルクリン反応の確認を行っている。

また、感染症に関して以前、定期試験中のインフルエンザ感染により多くの学生が追試験となってしまう、その後の日程に影響を与えてしまったことがある。そのため、現在では11月頃に全学生に対して学内でインフルエンザワクチン接種の

実施を行っている。全学生に対してインフルエンザワクチン接種を行ってから、ショートホームルームでの健康管理もあり、学内でインフルエンザが大きく流行することはなくなっている。

VI. 学生のメンタルチェック

学生のメンタルチェックは、ショートホームルームでの学生の様子や、個別面談により確認を行っている。やる気がなくなってしまう学生の多くは、欠席や遅刻から始まることが多いので、疾病以外の理由で欠席が多くなってきている学生には個別面談を実施して、悩み等を確認するようにしている。学校側だけでは対応が難しい場合には、必要に応じて、保護者と相談することも行っている。

第3学年の臨地実習中については、土曜日を本校への登校日とし、朝のショートホームルーム以外に、臨地実習先ごとに担当教員をおき、放課後、必ず個別面談を行うことで、学生の様子を確認している。臨地実習ノートと勉強で使用しているノートをチェックし、個別面談を通して、勉強面だけでなく、メンタル的な部分についても各教員でみるようにしている。臨地実習先で、人間関係や勉強に悩んでいる学生が、まだ余裕がある状態なのか、それとも余裕がなく、すぐに対処しなければならぬ状態なのか、面談だけで足りなければ、周りの学生から情報を得ながら、指導を行っている。すぐに対処しなければならぬ状態ならば、臨地実習先の指導者の方や担当者の方と連絡を取り、連携しながら、指導を行うようにしている。

VII. 就職支援および就職指導

現在、本校ではキャリア支援室を設け、就職に関する書類の書き方や面接の指導等を行っている。しかし、就職指導におけるキャリア教育は、第3学年だけで成立するものではないので、学年ごとに連携をとり、全教職員が関わりながら、学生の指導や教育を行っている。例えば、第1学年では基礎科目の授業や特別講義等を通して基礎的な自己表現の仕方やアピールの仕方を学び、また新入生研修旅行や臨地実習見学会を通して臨床検査業

表 2 感染症関連記録

感染症関連記録				
ふりがな 氏名	生年月日	年 月 日		
	年 齢	歳	性 別	男・女

感染症名	該当する□に レ でチェック	抗体検査結果(方法名)	検査日・ワクチン接種日
麻疹 (はしか)	<input type="checkbox"/> 罹患歴あり <input type="checkbox"/> ワクチン接種歴あり (接種日 年 月 日) <input type="checkbox"/> いずれもなし <input type="checkbox"/> 不明	I g G (E I A法)の結果 抗体価_____ (陽性・陰性)	・検査日 平成 年 月 日 抗体確認後ワクチン接種をした場合記載 ・ワクチン接種実施日 平成 年 月 日
風疹 (三日ばしか)	<input type="checkbox"/> 罹患歴あり <input type="checkbox"/> ワクチン接種歴あり (接種日 年 月 日) <input type="checkbox"/> いずれもなし <input type="checkbox"/> 不明	I g G (E I A法)の結果 抗体価_____ (陽性・陰性)	・検査日 平成 年 月 日 抗体確認後ワクチン接種をした場合記載 ・ワクチン接種実施日 平成 年 月 日
流行性耳下腺炎 (おたふく風邪)	<input type="checkbox"/> 罹患歴あり <input type="checkbox"/> ワクチン接種歴あり (接種日 年 月 日) <input type="checkbox"/> いずれもなし <input type="checkbox"/> 不明	I g G (E I A法)の結果 抗体価_____ (陽性・陰性)	・検査日 平成 年 月 日 抗体確認後ワクチン接種をした場合記載 ・ワクチン接種実施日 平成 年 月 日
水痘 (みずぼうそう)	<input type="checkbox"/> 罹患歴あり <input type="checkbox"/> ワクチン接種歴あり (接種日 年 月 日) <input type="checkbox"/> いずれもなし <input type="checkbox"/> 不明	I g G (E I A法)の結果 抗体価_____ (陽性・陰性)	・検査日 平成 年 月 日 抗体確認後ワクチン接種をした場合記載 ・ワクチン接種実施日 平成 年 月 日
B型肝炎	<input type="checkbox"/> ワクチン接種歴あり <input type="checkbox"/> いずれもなし <input type="checkbox"/> 不明	抗体価_____ (陽性・陰性)	・検査日 平成 年 月 日 抗体確認後ワクチン接種をした場合記載 ・ワクチン接種実施日(3回・最終日) 平成 年 月 日
結核	ツベルクリン反応 <input type="checkbox"/> 陽性 <input type="checkbox"/> 陰性 <input type="checkbox"/> BCG接種	検査結果 _____ × _____ (硬結・二重発赤・水泡・潰瘍・出血) 済 ・ 未実施 (要確認)	

※ 太線を家庭で記入(記入日 年 月 日)、その他は学校・医療機関で記入

東武医学技術専門学校

務の実際を学ぶようにしている。第2学年では臨床科目の実習を通して接遇を学び、また臨地実習選択のための自己PR文提出や臨地実習のための履歴書記入から就職における自己表現の仕方やアピールの仕方を学ぶようにしている。第3学年では臨地実習や就職説明会を通して、就職先の情報や就職活動の実際を学ぶようにしている。

現在、進路相談から就職や進学まで、担任とキャリア支援室が連携しながら行っており、就職希望の学生について、最終的に100%の就職率を得

ているが、必ずしも希望の就職先に就職できているわけではないので、学生の適性や能力を踏まえ、できる限り学生が希望する就職先に就職できることを目指し、就職支援並びに就職指導を行いたいと考えている。

VIII. その他の学校行事

本校では、勉学だけでなく、人間形成のため、全学生で参加する多くの行事を設定している。通常の球技大会や学園祭以外に、卒業生も参加する

バーベキュー大会や、卒業する3年生を送り出す鍋パーティなども行っている。学年ごとに行っている行事もあり、第1学年では前述の新入生研修旅行や臨地実習見学会以外に公衆衛生学実習や寄生虫検査学実習での見学会を実施し、第2学年では海外研修旅行や埼玉県医学検査学会の参加を行い、第3学年では臨地実習以外に関甲信支部医学検査学会の参加を行っている。また、文化系同好会活動を通し、学術研究発表会を行い、クラブ活動を通し、フットサルやテニス、ソフトボール等を行っている。

それぞれの行事や活動には教職員が関わり、お互いに協力しながら、信頼関係を構築するよう行っている。

IX. ま と め

最初に示したように、本校は大規模な学校ではないので、完全に分業化されてはいない。しかし、これを欠点とするのではなく、全教職員が協力することで、利点とするようにしている。本校は組織的に教務部と事務部が分かれているが、売店や事務窓口での学生の様子から、事務部より学生に関して、有用な情報を得ることもある。まだまだ完全ではないが、全教職員が学生一人一人と関わり、学生一人一人と信頼関係を構築することで、現在の進級率や卒業率を更に向上させ、最終的には入学した学生全員を卒業、国家試験合格、就職や進学まで導くことができるのではないかと考えている。